

通学路の安全対策で知事に要望

党愛知県議団

公明党愛知県議団(木藤俊郎団長)は1日、名古屋市の県公館に大村秀章知事を訪ね「通学路の安全対策についての緊急要望」を行った【写真】。

席上、木藤団長は、集団登校中の児童らの列に自動車が入り込み、死者を出した重大な事故が相次いだことを踏まえ、県内の各市町村および関係機関と緊密な連携を取りながら、



早急に対策を講じる必要を指摘。その上で、①県が主導し、市町村単位で、学校、保

護者、警察や専門家等
関係者などで構成する「通学路安全対策協議会」(仮称)の早期設置②通学路の指定や安全対策等の抜本的な見直し③通学路安全点検調査をゼ口から子どもの視点で実施し、バス通学も考慮し停留所の安全性も対象に含めること――の3項目を求めた。
これに対し、大村知事は「対策に緊急に取り組んでいきたい」と答えた。